



自由のはた

司令官モロナイは偉大な指導者でした。モロナイは神様にしがいました。また、ニーファイ人が家族を守るのを助けました。

アルマがゆるしを求めていたとき、何が心に満ちたでしょうか。(アルマ 36:20)

司令官モロナイは民に何をあてえて、「頭部をぼうぎょ」しましたか。(アルマ 43:19)

司令官モロナイが手紙を書いたそうとくはだれでしたか。(アルマ 61:1)

わたしはモルモン書を読むことができます!

モルモン書を読んだら、絵の一部に色をぬりましょう。「わたしにしがってきなさい」でそれぞれの週に読む場所から、下のせいくを読むとよいでしょう。

第1週: アルマ 37:37

第2週: アルマ 40:23-25

第3週: アルマ 43:45

第4週: アルマ 62:50-51

モロナイは上着を引きさいて、はたを作りました。そして、はたに言葉を書いて、人々が自分たちの自由と宗教、平和を思い起こせるようにしました。モロナイは、家族を守ると約束するようまねきました。そして、すべてのとうにはたを立てました。

人々はこのはたを自由のはたとよびました。ニーファイ人は、自由のはたを見る度に、正しいことのために立ち上がろうと思いましたが、(アルマ 46:11-20 参照)。

紙やポスターを使って、自分の自由のはたを作しましょう。イエス・キリストにしたがうことを思い起こさせてくれる言葉を書くか、絵をかきましょう。あなたが作ったはたをわたしたちに見せてください!

